

第45回放送番組審議会 議事録

日時 2017年5月11日(木)
場所 株式会社ケーブルネット鈴鹿 新館 会議室

審議委員(出席者)

会長 高木純一氏
副会長 新田保次氏
委員 南部美智代氏・加藤二三子氏・市野聖治氏・西山哲也氏・潮崎誠氏
中道公子氏・鈴木爆博氏

事業者側(出席者)

秋月修二・家田孝・大野宏幸・諸岡太・美馬孝宣・古川佳苗

■報告事項

1. 株式会社ケーブルネット鈴鹿の近況

- ・テレビ、インターネット、電話、3サービス共に加入者数純増
- ・情報定点カメラを3箇所追加し、合計12箇所を毎日放送
- ・新サービスについて

2. 前回の審議会の要望事項に対する回答

- ・緊急の台風情報について精度を高める事が必要との要望には、L字放送を活用し、文字情報で発信していくと回答。
- ・みりよく探訪リレーへの要望には、番組内で表示する地図について、ケーブル4Kでの全国配信を視野に入れ、三重県と鈴鹿市の位置関係が全国から見て分かりやすいよう配慮すると回答。

3. 2016年度下半期 放送番組実績報告

【特別番組】

地域の伝統や文化を伝えるという観点から、10月放送「上野天神祭」、11月放送「伝統文化再発見」、1月放送「富田の宝」の放送を決定した。併せて、4K収録による文化遺産の記録にすでに取り掛かっている。

県内各局の連携強化について、12月放送「高校駅伝ダイジェスト」の制作にあたり、各局がカメラ1台ずつを出し合い、協力して番組制作にあたることで局同士の交流を深めている。

4. 2017年上半期の取り組み

1月「大雪時の特別編成」から、何かあればCNS 11chを見てもらうと地域の緊急情報がわかるようにPRしていく。

幅広い視聴者獲得のため、「まほろば」、「みりよく探訪」そして4月から始まった新番組「刻」の3番組を4K収録しており、改めて番組制作を通して文化遺産を4K映像で記録していく。「もっと！水の惑星(ほし)紀行」・「東海の肖像」・「寄席チャンネル」・「囲碁講座」・「将棋講座」の新番組を導入。

■審議

◇視聴番組

- ・ケーブルNews 1月16日号 (2017年1月放送)
- ・きょうはどこまで北勢散歩__白子本町 (2017年1月放送)
- ・みりよく探訪リレー__鈴鹿市の地酒 (2017年2月放送)
- ・番組制作全般

◇ご意見・ご感想

ケーブルNews 1月16日号

大雪情報について評価できる。今後は、視聴者を意識して通勤や通学などの際に役立つ様、より内容の精度を高めて欲しい。

情報の取り上げ方について、四日市はよく雪が降る。冬の季節風にも注意がいるし、アイスバーンが発生することもある。しかし、御在所スキー場にとって積雪量が多い事は生活を豊かにするので、ネガティブな側面だけ取り上げずに伝えられるとよい。

きょうはどこまで北勢散歩

日高さんの間がよく、見ていて飽きさせない。

勝速日神社に関して、宮の中を見せてもらっていたのが印象的だった。なかなか見せてもらえるものではないので、そういうところを伝えると視聴者に興味を持ってもらえるのではないか。

街と歴史の面白さを紹介するのであれば、同じように歩いてみたいと思うので、ルートについて表示して欲しい。

みりよく探訪リレー

杜氏が辞めて苦労した話題、市民に酒造りへ参加してもらおう事、若い女性客を取り込むなど経営的に新たな取り組みしている一面が見られて面白かった。

番組制作全般

定点カメラの情報はありがたかった。市内でも雪の降り方が違って、「神戸が雪で大変なことになっている」というような、局所情報をケーブルテレビで見られる様になると思っていなかったので良い取り組みであると思う。

以上